

医療関係者
の方々へ



大阪大学医学部附属病院

THE UNIVERSITY OF OSAKA HOSPITAL

糖尿病・内分泌・代謝内科



<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/departments/endocrine.html>



診療科長 下村伊一郎

診療科医師 約70名

- ✓ 糖尿病・代謝疾患と内分泌疾患を幅広く診療しております。
- ✓ 多くの専門医が各領域の高い専門性を有しています。
- ✓ 地域の先生方と病診連携で患者さんの診療にあたります。

糖尿病・肥満症センター

CENTER OF DIABETES AND OBESITY DISEASE

2025年5月7日、「糖尿病センター」が進化しました。

管理栄養士、糖尿病看護認定看護師
とともに「チーム医療」で
患者さんをサポートいたします。

インスリンポンプ療法、膵腎同時移植、
減量・代謝改善手術、肥満症治療薬などの
先端医療に取り組んでいます。

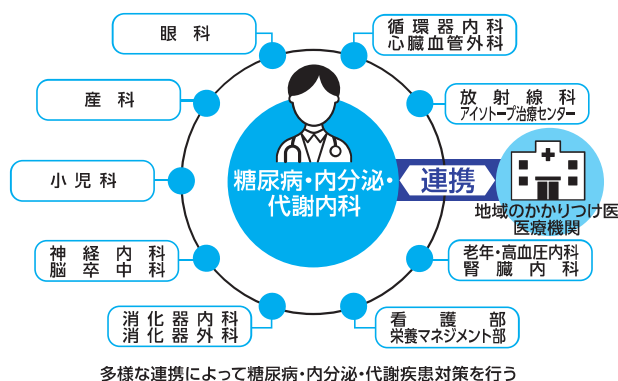
地域の先生方とともに歩みます。

診療内容

- 診療医／約70名
- 専門医／内分泌代謝科、糖尿病、肥満症、甲状腺、動脈硬化専門医など。
- 対象疾患／糖尿病、肥満症、脂質異常症、高血圧症、痛風・高尿酸血症、視床下部・下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎および性腺疾患、骨粗鬆症など。
- 紹介目的／糖尿病教育入院、合併症の総合的評価、各種内分泌疾患の検査・治療。
一般診療では行いにくい負荷テストなどのための短期入院も対応可能。
- 専門診療／パセドウ病・内分泌腫瘍に対する放射線内照射療法、エコーガイド下穿刺吸引細胞診等。

特色

- 糖尿病・肥満症センターでは、専門医・糖尿病看護認定看護師・管理栄養士がチーム医療を推進し、患者さんのQOLの向上と健康寿命延伸のための療養が実践できるようサポートします。
- 「栄養食事指導」(栄養相談)では、内臓脂肪面積や骨格筋量を測定し、個々の患者さんに持続可能な生活習慣改善法を提案しています。
- 糖尿病性腎症に対する「透析予防指導」では、病期分類を行い、食塩制限・蛋白制限等の食事・運動指導を継続して実施しています。
- インスリン自己注射の導入、皮下連続式グルコース測定 (CGM: Continuous Glucose Monitoring)、インスリンポンプ療法などの先端医療の導入も行っています。
- 糖尿病入院では、血糖の数値の改善のみを目指すのではなく、病態評価を行った上で治療最適化、合併症評価、さらには血糖悪化の原因となる悪性腫瘍や内分泌疾患などのスクリーニングを行います。必要に応じて、精密検査や専門科受診への手配を行います。
- 血糖コントロール難渋例、初回治療の糖尿病患者さんを是非ご紹介ください。
- 外来での糖尿病合併症の評価目的の受診も可能です。
- 多くの専門医により、さまざまな内分泌疾患の正確な診断と治療方針を決定いたします。



トピックス・先端医療

▶糖尿病

- 糖尿病先端医療を幅広い患者さんに提供しています。外科と連携して、脾腎同時移植前後の患者さんを診療しています。
- インスリンポンプ療法、皮下連続式グルコース測定 (CGM: Continuous Glucose Monitoring) の導入を積極的に行っています。毎月の通院はクリニックで、3か月に1回当科に通院してCGMを継続するケースもございます。
- 合併症外来を設けており、外来でも定期的に糖尿病合併症を評価 (神経障害の診察、心電図検査、血圧脈波検査、頸動脈エコー) 可能です。なお、上記の全てを合計1時間程度で評価できます。
- チーム医療を実践しております。外来受診日に合わせて、腎症2期以上の患者さんには透析予防指導を、腎症1期の患者さんには栄養指導を組み合わせ、合併症進行阻止、およびお一人おひとりの患者さんの健康なライフスタイル維持に努めています。



[糖尿病透析予防指導]



Abbottホームページより

▶肥満症

- 新たな食嗜好質問表 (JFPQ) を開発しました。(特許出願中)
- 内臓脂肪・骨格筋量測定、食行動質問表などによる生活習慣の「見える化」で、患者さんを連回栄養指導により継続支援しています。
- 外来/入院で、薬物療法、減量・代謝改善手術の適応評価と治療介入を行っています。

※2024年、約30年ぶりに新しい肥満症治療薬 (GLP-1関連薬) が上市されました。
※2024年8月、当院消化器外科での腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が100例に到達しました。

食嗜好質問表 (JFPQ) を日本スポーツ栄養協会に取り上げていただきました。

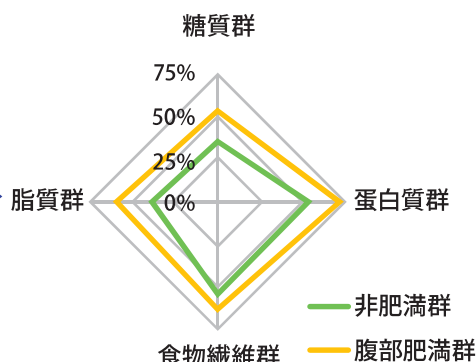


©Panasonic Corporation

内臓脂肪計の開発▲



▲食行動・食嗜好の見える化



[チームカンファレンス (肥満症治療チーム)]

▶内分泌疾患

内分泌疾患の患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

これらの症候は内分泌疾患と関係する場合があります。

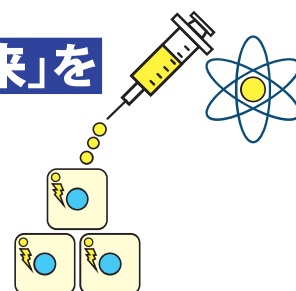
- | | | | |
|--|---|---|---|
| ☒ 難治性高血圧 | ☒ 口渇・多飲・多尿 | ☒ 顔貌・手足サイズの変化 | ☒ 月経異常 |
| ☒ 原因不明の体重増加・減少 | ☒ 体格に一致しない糖尿病 | ☒ 多毛・脱毛 | ☒ 頸部の腫脹 |
| ☒ 若年の骨折・骨粗鬆症 | ☒ 原因不明の倦怠感 | ☒ 電解質異常 | ☒ 多汗 |
| ☒ 甲状腺・副腎・下垂体腫瘍 | ☒ 繰り返す尿路結石 | ☒ 筋力低下 | |

2025年5月7日、

「褐色細胞腫・パラガングリオーマ内照射療法専門外来」を
開設しました。

アイソトープ治療センターと連携して、核医学治療を行っています。

対象疾患 褐色細胞腫、パラガングリオーマ、神経内分泌腫瘍、甲状腺癌、バセドウ病



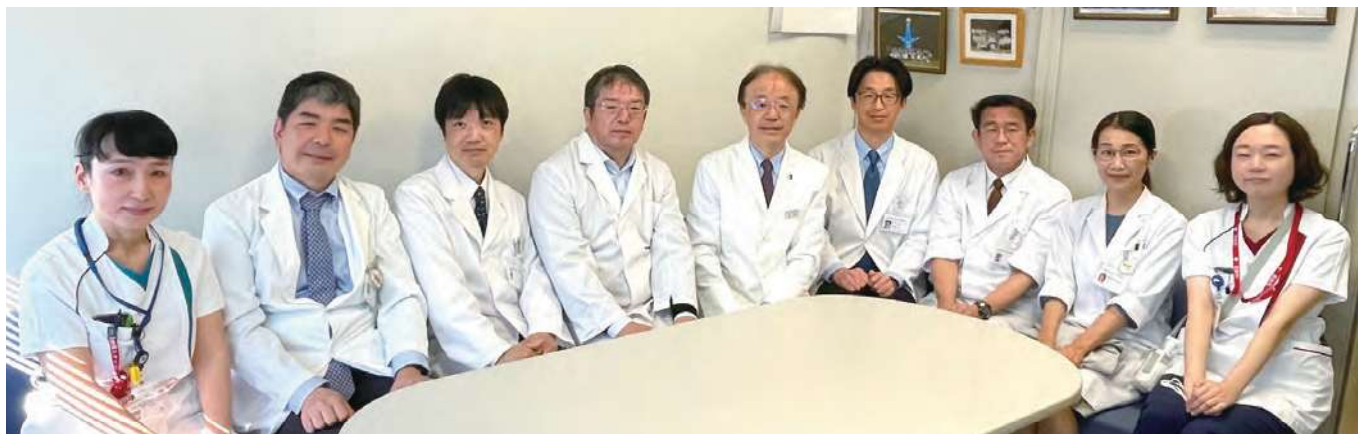
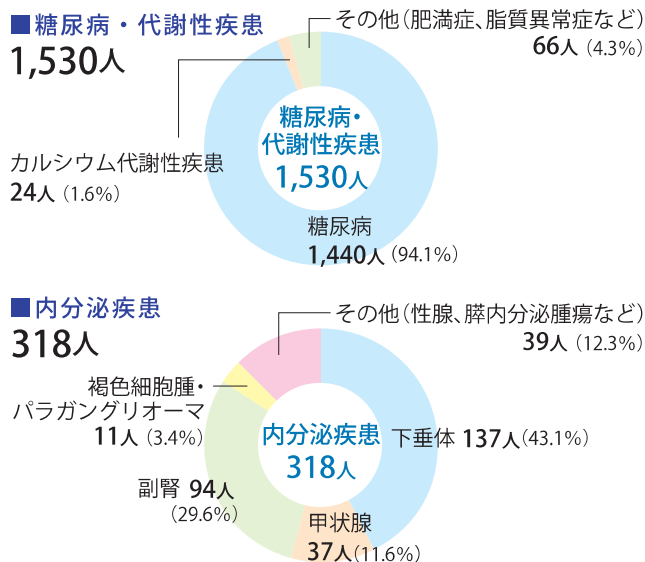
- 内分泌負荷試験と画像所見、手術検体の免疫染色を統合的に評価することで、内分泌疾患の個別化医療を行っています。個々の患者さんに最適な治療を提供します。

診療実績（2023年度）

[外来新患者数]	418人
[外来延患者数]	36,680人
[糖尿病透析予防指導]	515件
[外来栄養食事指導]	1,350件
[糖尿病合併症外来]	53件
[糖尿病療養指導（2024年度）]	773件
[在宅自己注射導入]	85件
[血糖自己測定導入]	35件
[皮下連続式グルコース測定導入]	35件
[フットケア]	24件
[頸動脈エコー]	436件
[甲状腺・副甲状腺エコー]	1,152件
[甲状腺穿刺吸引細胞診]	197件
[甲状腺シンチグラフィ]	108件
[副甲状腺シンチグラフィ]	21件
[睡眠時ポリソムノグラフィ]	51件

[入院新患者数]	484人
[入院延患者数]	6,966人

[入院内訳]



患者さんのご紹介について

阪大病院患者包括サポートセンター

地域医療機関との連携と患者さんの待ち時間解消のため、
FAXによる予約受付を行っております。こちらをご参照ください。

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/institution/apply.html>

☎ 電話によるお問い合わせ

患者包括サポートセンター ※患者さんから直接の連絡はできません。
TEL.06-6879-5080 (医療機関専用直通番号)
■受付時間/月～金 9:00～17:00 (休日・年末年始は除く)

FAXによるお申し込み

患者包括サポートセンター
FAX.06-6879-5081 (紹介・予約に関する直通)
■受付時間/月～金 9:00～18:00 (休日・年末年始は除く)



大阪大学医学部附属病院
THE UNIVERSITY OF OSAKA HOSPITAL



〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号 TEL. 06-6879-5111 (代表)

阪大病院

検索